

「学内・鉄人の贈り物」14歳と17歳のブックリスト
(X71197274 (河合雄) (1999))

滝口 俊子

京都文教大 人間学部

たきぐち としこ ●心理臨床の世界に入った若い日には、フロイト派の指導を受けていました。その後、女性の生き方、中高年の課題や死の問題を思い巡らすようになって、ユングへとひかれていきました。

専門領域の魅力を伝える一冊



ココロの処方箋

河合雄雄
新潮社

人間は、日々さまざまなことに直面し、思い悩みます。一人で考え込んでいると、アリジゴクに落ち込んでゆくような危険があります。『ココロの処方箋』を読むと、ホッと気が楽になったり、解決方法が思い浮かんでくることがあります。河合雄雄先生の本は、高校生に読みこなせるように書かれていますので、目に留まったものを、読んでみることを薦めます。視野が広がります。

私の大好きな一冊
若い人たちに
薦めたい一冊

私が高校時代に好きだったのは、『うつわの歌』をはじめとする神谷美恵子の著作でした。社会で活躍している女性の少ない時代でしたので、神谷美恵子さんの書かれたものはほとんど読んで、自分の生き方を思い巡らしました。

田嶋 誠一

九州大 教育学部

たじま せいいち ●心の中のことが入っている壺を浮かべ、出入りするイメージ療法を考案。パチプロをめざしたが挫折し、臨床心理学があるとは知らずに入学した九大で心の不思議さに開眼。研究室のスローガンは「ここはアマチュア、腕はプロ。補おう、腕の不足は体力で」。

専門領域の魅力を伝える一冊



自分を好きになる本

パット・パルマー
径書房

心理学者の書いた本で、一般人が読んでも役立つものとはとても少ない。本書は誰でもすぐに読むことができ、しかもすぐ実行できることが書いてあるやさしい(易しい・優しい)本です。でも、実はこういう本を書くためには、よほど深い人間理解がないと書けません。だから、本書は大変高度な内容の本だと言えます。イッキに読み進んではいけません。かみしめながら、少しずつ読んでいきましょう。

私の大好きな一冊
若い人たちに
薦めたい一冊

『鈴の鳴る道』星野富弘著(偕成社)。事故のため首から下がマヒしてしまつた星野氏が口に筆をくわえて描いた詩画集。障害がある人だからこそ描けたすてきな画と味わい深い短文が満載。自分自身にも他人にも優しい気持ちになれる本です。

小林 隆児

東海大 健康科学部

こばやし りゅうじ ●発達障害、特に自閉症圏内の障害に対し、関係性障害の観点から迫る。大学には母子治療室を設置、行動科学的に治療を実践。学生時代のボランティアがこの分野に入るきっかけ。趣味は尺八演奏。

専門領域の魅力を伝える一冊



自閉症だったわたしへ

ドナ・ウィリアムズ
新潮社

自閉症の人々の心の世界はつい最近まで想像することも難しい領域であった。しかし、自閉症の人本人が自らの心の世界を赤裸々に綴った本書は世界中でベストセラーとなり、彼らの心の世界がわれわれのそれときわめてよく似たものであることが知られるようになった。多くの自閉症研究者にとっても、精神医学や臨床心理学の世界に関心を持つ人たちにとって必読の書と言える。

私の大好きな一冊
若い人たちに
薦めたい一冊

『詞集たいまつ』(むのたけじ、三省堂新書)、大学時代に仲間とむさぼり読むようにして何度も読み直したものである。自分の人生観に大きな杖を与えてくれた。生きることと自分に対して正直になることを教えられた。

酒木 保

京都文教大 人間学部

さかき たもつ ●郷里兵庫の哲学者三木清の強い影響を受ける。自閉症児と遊び、彼等の心を開かせる。また死にゆく人の残りの生を裏切るものにする対話にも挑戦。中京大で10年間色彩の実験心理の研究を経て転じたことでさまざまな色彩セラピーを考案。96年学会賞受賞。

専門領域の魅力を伝える一冊



臨床心理学と人間

林昭仁/駒米勝利編
三五館

臨床心理学のすべての領域を、それぞれの専門家が、容易に解説している。また、何人かは臨床心理学を専攻するに至った動機を語っており、わかりやすく、内容の濃い本である。臨床心理学に興味を持つ生徒には、一読を薦めたい。

私の大好きな一冊
若い人たちに
薦めたい一冊

スーザン・バーレイの『わすれられないおくりもの』、これは絵本であるが、これほど内容の濃い本はきわめて少ないであろう。何を訴えようとしているかは、読んでみて各自で考えてほしい。